

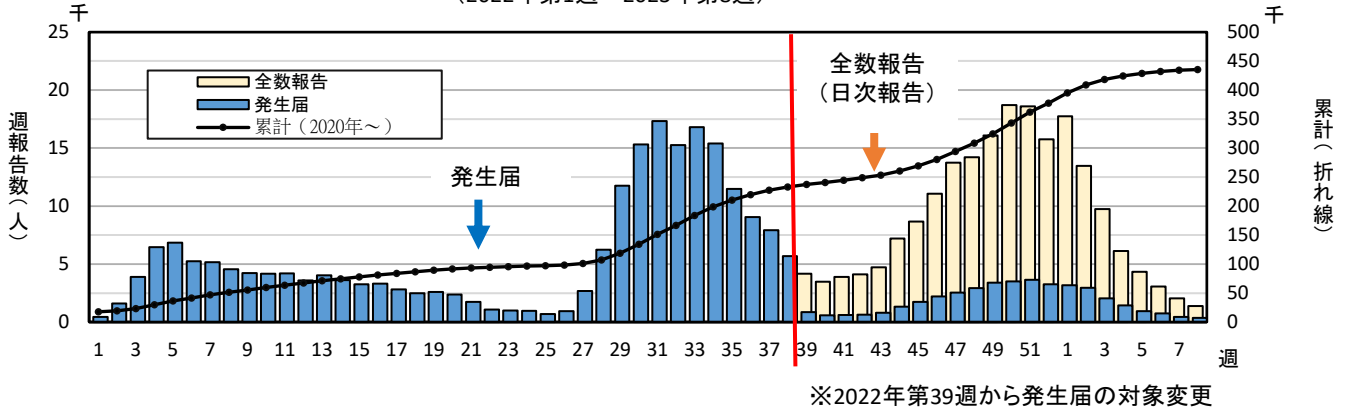
新型コロナウイルス感染症 (2023年2月28日 13:00現在 暫定値)

※2022年第39週からは感染症法第12条に基づく届出と全数報告をHER-SYSデータで集計

【2023年第8週 (2月20日~2月26日)】

- ◆ 発生届は355件で、第7週 (452件) から減少しました。90.1% が65歳以上でした。
- ◆ 全数報告は1,383件で、第7週 (2,036件) から減少しました。8.7% が健康フォローアップセンターからの報告 (自己検査陽性) でした。

新型コロナウイルス感染症報告数の推移と累計
(2022年第1週~2023年第8週)

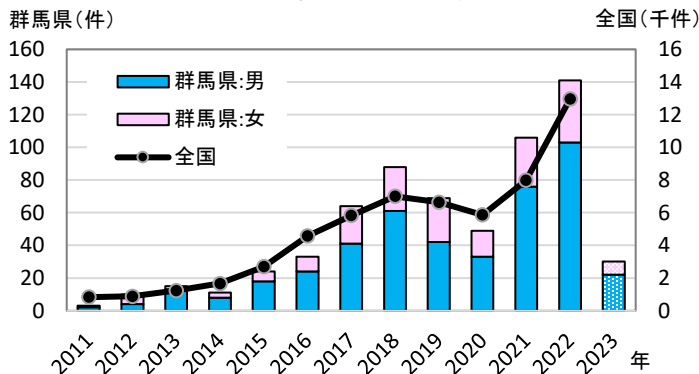


梅毒 (全数報告疾患)

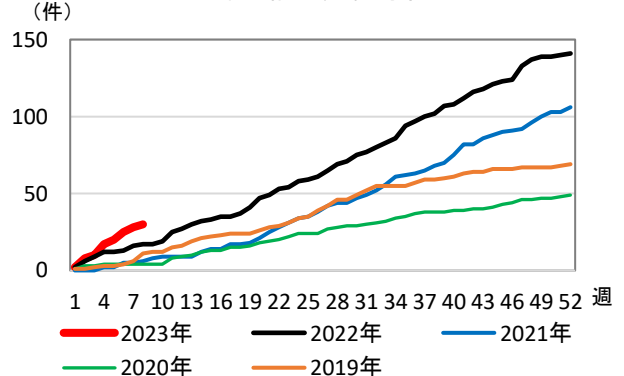
- ◆ 全国的に2011年頃から報告数が増加傾向となり、2019年から一旦減少したものの、2021年以降大きく増加して2022年では感染症法による調査が開始されて以降、過去最多となりました。
- ◆ 群馬県では2022年に141件の報告がありました。報告の多かった年齢群は、男性が20歳代から60歳代、女性は10歳代後半から20歳代でした。
- ◆ 2023年は第8週現在で30件の報告があり、過去最多となった2022年 (第8週:17件) を上回るペースとなっています。

梅毒の報告数

(2011年~2023年第8週まで ※全国は2022年まで)



累計報告数(群馬県)



*この情報に関するお問い合わせ先：群馬県感染制御センター (群馬県衛生環境研究所)

TEL: 027-232-4881

E-mail: kansenseigyoo-c@pref.gunma.lg.jp

●新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ゲノム解析について(Vol.29)

新型コロナウイルスゲノム解析結果(2023年第6週(2月6日~12日)まで)

県内では、オミクロン株が2021年第50週(12月13日~19日)に初めて検出され、2022年第1週(1月3日~9日)以降、BA.1が主な流行となりました。

2022年第2週(1月10日~16日)に渡航歴のある患者からBA.2も検出されましたが、その後の拡大はみられていませんでしたが、第9週(2月28日~3月6日)以降、BA.2の検出が増加し、主な流行となりました。

第25週(6月20日~26日)以降、新たにBA.5が検出され、第30週(7月25日~31日)にBA.4が検出されましたが、現在もBA.5による流行が継続しています。

またBA.2.75.3(BA.2系統)が第38週(9月19日~25日)以降、BQ.1.1(BA.5系統)が第44週(10月31日~11月6日)以降、さらに組換え体であるXBB.1(BA.2系統組換え体)が第49週(12月5日~11日)に、XBC.1(BA.2系統組換え体)が第51週(12月19日~25日)に検出されており、引き続きゲノム解析による流行の把握が重要と思われます。

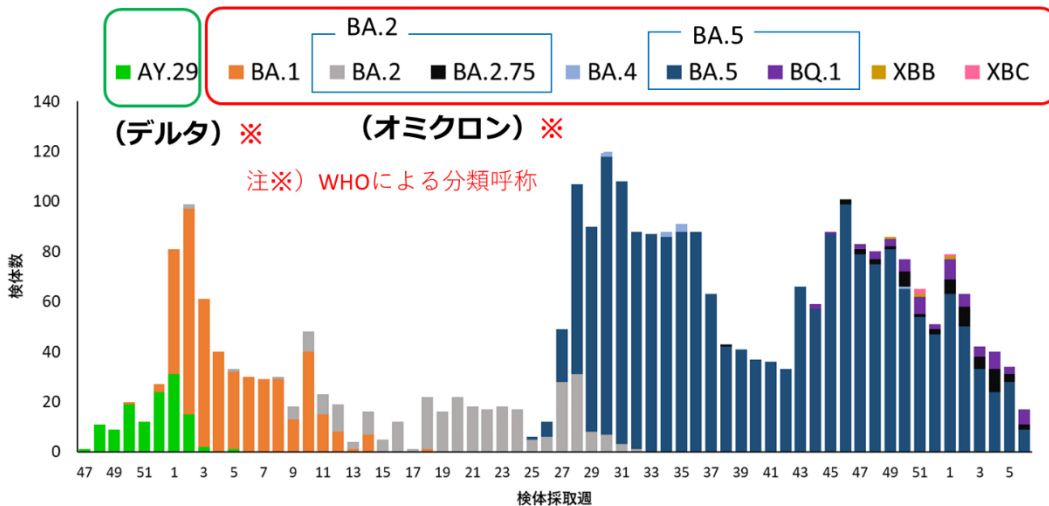


図1 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(検体数)【群馬県衛生環境研究所実施分】

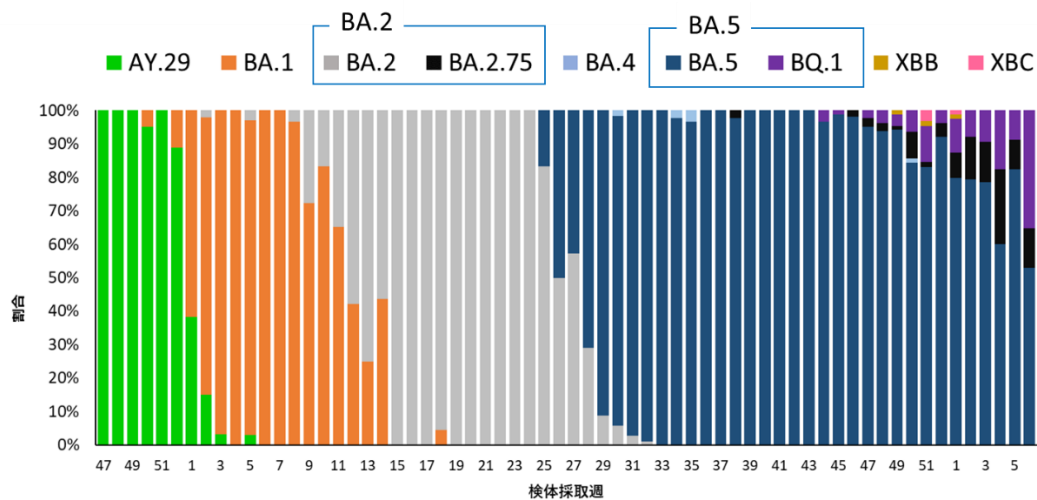


図2 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(割合)【群馬県衛生環境研究所実施分】